# 無印良品

デジタル電波クロック・大／小

# 取扱説明書

●お買い上げいただきありがとうございました。
●ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
●この取扱説明書は必ず保管してください。

付属品
単４形アルカリ乾電池 ２本
取扱説明書（本書） １部

保証書付

## 保証書

製品名 デジタル電波クロック・大／小

お買い上げ日 年 月 日

お客様 お名前

お客様 ご住所

TEL

販売店印

上記項目が未記入の場合は無効です。
〔保証期間〕お買い上げ日より１年以内

■保証について

通常のお取り扱いで万一機械故障が生じました場合、保証期間中に下記までこの保証書を添えてお申し出下されば無償にて修理・調整いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有償修理になりますのでご了承ください。
（ご使用の際はこの取扱説明書を必ずお読みください。）

1）誤ったご使用による故障、またはお取扱いの不注意による故障
2）不適当な修理や改造による故障
3）火災または天災による故障
4）ご使用中に生じる外観上の変化（本体、ガラスの傷など）
5）本保証書のご提示がない場合（電池は保証の対象外です。）

また修理の際、外観の違う代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 良品計画
〒170-8424 東京都豊島区東池袋 4-26-3
お客様室 0120-14-6404
平日 10:00 ～ 21:00
土･日･祝 10:00 ～ 18:00

輸入元
リズム時計工業株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
お客様相談室 0120－557－005
受付時間 9:00 ～ 17:00
土日、祝日および年始年末、夏季休日を除く

取扱説明書番号 Z102-ZGXZ(Y1202)

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した警告・注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず実行していただくことを示しています。

### ⚠警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池を充電しない。
●電池をショートさせない。
●加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●漏れた液に直接触れないでください。
ゴム手袋をして電池をはずし、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様室にご相談ください。

### ⚠注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を逆向きに入れない
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。

誤って表示部を破損し、液晶がもれた場合には、顔や手などにつけない
表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。
●温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が－10℃以下の所。
●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●ガスの発生する所。（プール、温泉場など）
●多くの油を使用する所。（調理場など）
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

## 時計、電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●時計と電池を分別して廃棄してください。

## 電池のご注意 （電池の正しい使いかた）

**電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう**

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かない所に置く 。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。

### 電池の種類について

●本製品は、電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
●充電式電池をご使用する場合は、必ず満充電してからご使用ください。
●充電式電池は電圧･容量･充電回数 により使用できなかったり、使用できる時間が異なります。
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例．Panasonic オキシライド乾電池）

### 電池の寿命について

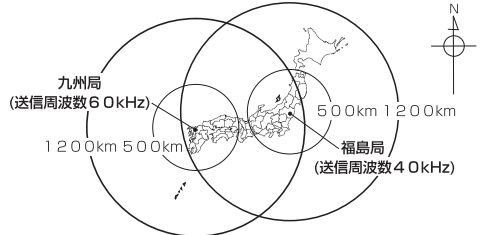
●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池の交換が必要になることがあります。
●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

### 電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。
海外でご使用になるときには、手動で日時を合わせてお使いください。

### 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

## 1 ご使用方法 ……標準電波受信方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、（手動での時刻合わせ）をお読みください。

**電池のセット、時刻合わせ、表示の設定をするときは、電池ぶたを取り外し、設定が終わったら電池ぶたを取り付けてください。**

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

**❶ 電池を入れる**

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単4形 アルカリ乾電池を2本入れる。
**電池の⊕⊖を逆に入れると、電池からの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。**

**❷ 先端の細いものなどでリセットボタンを押す**

受信マークが点滅し受信を開始します。
**※ 受信中はボタンに触れないでください。**

**❸ 受信が終わるまで待ち受信結果を確認する**

受信は、最長で20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

### 【受信の流れと表示】

〈リセット直後〉

〈受信開始〉


電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2008年1月1日 午前12:00に設定されます。

**受信終了** 最長で約20分後

（表示例）

**受信成功**
受信マークが**点灯**

正しい日時を表示。

**受信失敗**
受信マーク **なし**

日時は正しくありません。

**受信中の受信マークの変化**（電波サーチ機能）
電波の状態により変化します。

**チェック！**

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて **受信ボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

## 標準電波を受信できない場合

**●朝までそのままにしておく**

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

**●場所を変える／受信をやり直す**

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、受信ボタンを押して結果を確認します。

### 電波を受信しにくい環境

**次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。**

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く
- ビルの地下など

※ビルの室内でも受信しにくい場合もあります。

**標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせて、ご使用ください。**

## ⚠ 注意　電池の交換

**電池を長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。**
**電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。**
**次のような現象のときには、電池を交換するか、電池を取り出す**

- 暗い所で液晶表示が薄くなる。
- 表示が消える。
- 電池を入れて 1年経過した。

**電池を交換するときの注意**

- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池など種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆向きに入れない。

## リセットボタンと受信ボタンについて

受信ボタン：設置場所を変えたときなど、意図的に受信を開始させるときに押す。
リセットボタン：電池を交換したときや静電気により誤作動したときに押す。
2008年1月1日 午前12：00に設定され受信を開始します。

## 2 手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

### 操作例　2012年12月25日午前10:37に合わせる

**① 通常表示**

①西暦年が点滅するまで **時刻合わせボタン**を約2秒間**押し続ける（長押し）**

**② 年を合わせる**

②**年**を**＋（進む）**または**ー（戻る）ボタン**を押して「12」に合わせて **時刻合わせボタン** を押す
設定できる範囲は、西暦2008年から2099年までです。

**③ 月を合わせる**

③**月**を**＋（進む）**または**ー（戻る）ボタン**を押して「12」に合わせて **時刻合わせボタン** を押す

**④ 日を合わせる**

④**日**を**＋（進む）**または**ー（戻る）ボタン**を押して「25」に合わせて **時刻合わせボタン** を押す

**⑤ 時を合わせる**

⑤**時**を**＋（進む）**または**ー（戻る）ボタン**を押して「10」に合わせて **時刻合わせボタン** を押す

**⑥ 分を合わせる**

⑥**分**を**＋（進む）**または**ー（戻る）ボタン**を押して「37」に合わせて **時刻合わせボタン** を押す
※分を合わせているときに**＋(進む)**または**ー(戻る)ボタン**を押すとゼロ秒になります。

**以上で設定は終わりです。**

- **約３０秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。**
- **標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。**
- **手動での時刻合わせ設定後も定期的に標準電波の受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。**
- **この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。**
- **リセットボタンを押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。**

## 温度・湿度表示について

※センサーが温湿度計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

- 温度 「LL.L」:ー9.9℃より低温　「HH.H」:50℃より高温
- 湿度 「LL」:20%未満　「HH」:95%を超えている

※ただし、湿度表示は温度が５～５０℃の範囲外では「ーー」と表示されます。

■設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中などでは使用しないでください。

■湿度は設置場所により変わります
湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いができます。

㊟本製品は室内用です。室内の温度･湿度計測以外の目的では使用できません。
また厳密な温度･湿度管理を行う用途には適していません。

## 故障かなと思ったときは

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

| 症　状 | 考えられる原因 | 処　　置 |
|---|---|---|
| 表示が出ない | ・電池が入っていない。<br>・電池の容量が少なくなっている。 | ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセット ボタン」を押してください。 |
| | ・電池が正しい向きで入っていない。<br>・きちんとリセットされていない。 | ・電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。 |
| 時刻またはカレンダーの表示が欠けている | ・電池の容量が少なくなっている。 | ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセット ボタン」を押してください。 |
| | ・きちんとリセットされていない。<br>・静電気等による誤動作。 | ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。 |
| 時刻またはカレンダーが合っていない | ・受信に成功していない。 | ・（標準電波を受信できない場合）をお読みになり、再度受信させてください。 |
| | ・電池の容量が少なくなっている。 | ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセット ボタン」を押してください。 |
| | ・きちんとリセットされていない。 | ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。 |

## 製品仕様

| | |
|---|---|
| 使用温度範囲 | ー10 ～50℃　＊結露しないこと　液晶表示可読温度範囲　0～40℃ |
| 時間精度 | 表示精度　標準電波受信成功直後　±1秒<br>標準電波を受信しない場合　平均月差 ±30 秒　気温が5 ～ 35℃の範囲で使用 |
| 使用電池 | 単4形アルカリ乾電池（LR03）2本 |
| カレンダー表示 | 2008～2099年フルオートカレンダー |
| 電池寿命 | 約1年 |
| 標準電波 | 標準電波受信により自動時刻修正 |
| 受信回数 | 1日 2～3回 |
| 受信開始時刻 | 午前2時16分40秒、午後2時16分40秒に受信を開始。<br>受信できないときは、午前 3時16分40秒 にも受信を行う。 |
| 受信局 | 福島局 / 九州局　自動選択 |
| 温度表示 | ー9. 9～ ＋50℃　温度精度±2℃ |
| 湿度表示 | 20～95%　湿度精度±10%（温度が5～50℃の範囲のとき） |
| 製品重量 | デジタル電波クロック・大 ： 220g(電池含む)<br>デジタル電波クロック・小 ： 140g(電池含む) |

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。
40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は５年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。